



“城南旋風”の序章 — 秋田県中学校総合体育大会 —

7月9日（土）・10日（日）に先行開催として行われた秋田県中学校総合体育大会剣道大会で、本校剣道部員が県下に城南旋風を吹かせてくれました。

- 【男子団体】 **第2位**
*東北大会出場権獲得
- 【男子個人】 **優勝 O.Sさん**
*全国・東北大会出場権獲得

なお、O.Sさんは秋田県剣道連盟の優秀選手賞も受賞しました。剣道部の皆さんには、勝っておごることなく、謙虚に更なる高みを目指してほしいと思います。

この剣道部の活躍は、16日（土）から開催される卓球、水泳、陸上競技大会や、24日（日）から始まる全県少年野球大会に出場する選手たちに勇気を与え、大きな弾みをつけてくれました。

剣道部の皆さん、ありがとう!!

栄光の記録

○第45回JOCジュニアオリンピックカップ
夏季水泳競技大会・秋田県予選会

- S.Kさん**
- ・100m平泳ぎ **第3位**
- ・50m自由形 **第3位**

SOSの出し方・受け方講座

7月12日（火）、いのちを守りいのちを支えるキャンペーン「SOSの出し方・受け方講座」を開催しました。本校では目指す子どもの姿の最上位に、「自他の命を大切に守ることを最優先させる生徒」を掲げていますので、ぜひ実施したい講座の一つと考えていました。

秋田大学自殺予防総合研究センターの方々をお招きしてストレスや悩みを抱えた時の対処法について教わりました。

講話の前半では、SOSはストレスと上手に付き合うスキルであり、SOSを出すためには「悩みに気付く」「相手を探す」「相手に話す」の3つのステップが必要なことと、相手に話すときの「SOS決まり文句」について教えていただきました。

◆SOS決まり文句

【家族や友達の場合】

「ちょっと話したいことがあるんだけど」
「〇〇で悩んでるんだけど、話を聞いてくれない」

【学級担任や養護教諭の場合】

「先生すみません。今悩んでいることがあるので、悩みを聞いていただけませんか？」

後半には、SOSの出し方スキルのレベルあげや、友達からのSOSの受け止め方についても助言をいただきました。

また放課後には、生徒からのSOSの受け方についての職員研修も行いました。

生徒の皆さんには、悩みが深刻になる前に誰かに話したり、相談したり助けを求めることができるようになってほしいと思いますし、今度はぜひご家族の方々と一緒に受講したい講座だと感じました。



朝の出来事③

いつものように校門で生徒を迎えていると、ゴミを手には歩いて登校する生徒がいました。「どうしたの？」と尋ねると、通学路に落ちていたゴミを拾ってきたとのことでした。このようなことが別々の生徒で複数回続き、朝からうれしくなりました。この後もゴミに気付き、自然に捨てる生徒が増えてくれれば、地域の方々からの「角中があってよかった」にもつながると感じました。

先日、仙北市の教育委員会の方々を迎え、授業を一巡していただきました。生徒や教師の明るい笑顔が印象的だったということと、学校がきれいだといううれしい評価をいただきました。

広い意味で考えると、校舎は市の所有施設ですので、市民から借りて使わせていただいていることとなります。貸していただいている場所だからこそ、清掃の時間に頑張ることはもちろん、一人一人が落ちているゴミに気付く感性を磨き、気付いたら拾って捨てるというシンプルな行動を重ねながら、きれいに大切に使いしていきたいと思えます。

出場種目成績 （順番は実施順）			
◎50M平泳ぎ			
6年女子	第9位	小松紗雪	1分06秒43
6年男子	第14位	池田碧威	55秒97
6年男子	第9位	菊地航輔	52秒30
◎50Mバタフライ			
6年女子	第4位	小松紗雪	58秒84
◎50M背泳ぎ			
6年男子	第3位	菊地航輔	49秒93
◎50M自由形			
3年女子	第4位	斎藤日菜子	1分00秒54
5年女子	第16位	大庭 咲	53秒69